

(様式2)

平成17年度施策評価総括表

分野別計画等		文化振興計画			
政策目標		沖縄文化の源を確認できる環境づくり			
施策名	平成17年度		平成19年度		
	評価結果	施策評価結果の説明 (理由、課題等)	必要な行政資源と効果見通し 施策展開方針		
(1) 歴史資料の編集と活用		史料編集事業における「歴代宝案」及び「新沖縄県史」は、各々刊行計画に準拠しつつ、「歴代宝案」関連2種類、「新沖縄県史」関連2種類の刊行物を編集・刊行した。達成度・貢献度は高いが、予算が低減傾向にあるため、刊行計画とのズレが生じている。	「歴代宝案」及び「新沖縄県史」編集・刊行は、各々刊行計画に基づき事業を遂行できるよう努めるとともに、刊行・作業計画についても実態をふまえ、見直しを含め検討を進める。	行政資源 現状維持	
評価の内訳				効果見通し 現状維持	
事務事業の総合評価	-				
県関与の必要性	2				
分野別計画どおりの 施策展開への取り組み	1				
成果指標の達成状況	4				
施策評価結果	B				
(2) 文化財保護・活用の推進		文化財の指定・保存に関する調査事業3件や保存修理事業10件等を実施するとともに、国や県指定文化財の管理を行うなど貢献度は高い。	文化財の指定・保存に関する調査や保存修理事業等を推進するとともに、新たな文化財の指定や登録文化財の登録を行い、あわせて指定文化財の管理を実施する。	行政資源 現状維持	
評価の内訳				効果見通し 現状維持	
事務事業の総合評価	-				
県関与の必要性	2				
分野別計画どおりの 施策展開への取り組み	1				
成果指標の達成状況	3				
施策評価結果	B				
(3) 伝統的な技能・技術・生活文化の伝承		九州民俗芸能大会への民俗芸能団体派遣、伝統文化の保存継承事業、無形文化財(芸能・工芸技術)の伝承者養成事業15件や公開・記録保存事業3件等の推進、銃砲刀剣類の登録を実施した。	九州民俗芸能大会への民俗芸能派遣、伝統文化の保存継承事業、無形文化財の伝承者養成事業や公開・記録保存事業等の推進、銃砲刀剣類の登録を、引き続き実施する。	行政資源 現状維持	
評価の内訳				効果見通し 現状維持	
事務事業の総合評価	-				
県関与の必要性	2				
分野別計画どおりの 施策展開への取り組み	1				
成果指標の達成状況	3				
施策評価結果	B				
(4) 歴史と伝統文化を発信する施設・空間づくり		17箇所(史跡・名勝)において、発掘調査をもとに、城壁等の復元整備を実施したほか、名勝の管理のための排水計画などの事業を実施した。ほぼ、計画どおりに実施でき、歴史的空間の広がりを図ることができた。	グスクを中心とした保存・整備事業を、発掘調査の成果を基に、整備委員会で検討し、文化庁との調整等により推進する。 歴史的空間として、さらには観光資源としての活用も注目されており、周辺整備事業との整合性を図りながら、事業を展開していく。	行政資源 現状維持	
評価の内訳				効果見通し 現状維持	
事務事業の総合評価	-				
県関与の必要性	2				
分野別計画どおりの 施策展開への取り組み	1				
成果指標の達成状況	4				
施策評価結果	B				